

一羊会だより

発行
社会福祉法人一羊会

事務局
〒663-8241
西宮市津門大塚町1-47
電話 (0798) 31-1760
FAX (0798) 31-1763



一羊会ホームページ
へはこちらから

特集

- 2024年度 一羊会オンライン実践発表会 報告 3
- すずかけイチバ上甲子園 表紙、7



すずかけイチバ上甲子園



部長あいさつ



総務部長
斯波 幸人

日頃は、一羊会の運営にご理解とご協力をいただき、有り難うございます。

2024年も残りわずかとなりました。今年度は財政面の改善を目指し、新たに公益事業を開始するとともに、地域生活基盤の強化に向けて取り組んでまいりました。

特に公益事業については「地域における福祉の啓発及び人材育成に係る事業」として、地域啓発と人材育成を目的に、地域の支援者、しょうがい児者の家族、学校等の先生を対象に研修会やコンサルティング、講師派遣をスタートしました。今後はこの事

業を拡大・充実させていきます。また、多くの方に一羊会の活動に賛同いただき、ご寄附いただけるように、ホームページに新たに「一羊会サポーター」ページを開設するなど充実を図り、SNS等でも広報活動を進めて参りました。

また、財政面の改善と経営基盤の強化のために、地域生活基盤の強化があります。今年度より、既存のグループホームを統合・再編することを目標に、中規模のグループホーム建設に向けて取り組んでいます。グループホーム建設を実現させることで、利用者個々のニーズに即した支援を提供するとともに、より適切なスタッフ配置をすることでグループホーム経営の健全化につなげることができると考えています。ぜひとも実現させたい事業です。

一羊会の理念である、しょうがいのある人たちが「ひとりひとりがその人らしく社会の中で生きてくことができるため」に、今できることを着実に進めていきたいと考えています。

本年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願い致します。



事業部長
秋山 健一

今年も12月6日に、『一羊会実践発表会』をオンラインで開催をしました。後日視聴も含めて約80名の方に視聴していただきました。参加して下さった皆様、ありがとうございました。

実践発表会は、開催を見送った2年を除くと、今年で14回目の開催となりました。実践発表会は、自分たちの支援を外部の方に知って頂く機会ですが、もう一方で自分たちの支援を振り返る大事な機会になっている側面もあると思います。

実践発表会のテーマが設定され、各事業所が自分たちの支援をテーマに基づきながら振り返り、資料作りを進めていきます。資料が完成するまでの過程の中で、自分たちの支援を何度も振り返る機会になっている事がとても重要だと思います。自分たちの支援について振り返りをする事は、客観的な視点に立ち経過をみていく事に繋がっていると思います。客観的な視点でみることは、支援が本当に「利用者中心」で行われていたかどうかを確認する大切な作業でもあり、支援の質を高めるためには欠かせないプロセスだと思います。実践発表の資料作成を進める中で、これまでの取り組みを振り返ることは、ただ過去を振り返ることにとどまらず、支援者にとっても今後の支援の質を向上させるための貴重な学びの機会にもなっていると思います。

最後になりますが、今年も実践発表に携わってくれた各事業所の皆様、本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。



社会福祉法人 一羊会 2024年オンライン実践発表会のご報告

一羊会の活動について多くの方に、より深く知っていただくために、今年度も実践発表会をオンラインで開催しました。「安心と笑顔を増やす」をテーマに、3つの事業所から発表させていただいた内容について、ご紹介させていただきます。

『TTT』

すずかけ作業所

田中 七海 / 牛田 暁宏

サニカム班では、今まで作業や仕事を頑張ってきた利用者の皆さんの活動の幅を広げ、今後の人生を豊かにするための活動を考え、提供しています。今回の発表では、皆さんが楽しみながら体を動かし、身体機能の維持に取り組みつつ、笑顔を増やしていくための『TTT』という活動をご紹介します。

『TTT』では、レクリエーション講師の田島栄文先生をお招きし、毎月2回、サニカム班の皆さんと活動を行っています。皆さんが培ってきた能力を活かしたゲームを考え、活動を通して体を動かし、時には職員もゲームに参加して競い合いながら楽しく活動を行っています。『TTT』という活動名も、皆さんに親しみを持っていただけるよう、職員と田島先生で意見を出し合い、考案しました。『TTT』という活動名には、『田島先生と 楽しく体を動かそう タイム』という意味があり、全員で楽しく体を動かし、笑顔になることができる時間を共有しています。

(支援者の思い)

サニカム班には、現在、男性9名と女性11名の計20名の利用者の方々が所属しておられます。私たち支援員は、皆さんの「人生がより豊かになるように」、「人生を楽しんでいるなと思っていただけるように」という想いを持ちながら、様々な活動を考え、実施しています。『TTT』の活動はその一環として導入し、ゲームを通して体を動かし、皆さんの身体機能の維持につなげることが出来ました。運動に苦手意識を持っている方が多い中、『TTT』の活動を通して、普段以上に楽しんで参加され、笑顔で取り組む様子がとても印象的でした。活動は、今後もレクリエーションの講師の先生や皆さんと試行錯誤して、作り上げていきたいと思えます。ゲーム性や内容をさらに高めていながら、皆さんの笑顔を引き出す支援を考え、今後の人生を豊かにするための活動を提供していきたいと考えています。



『移動支援って楽しい!』

地域生活支援センタージョイント 居宅支援事業課
井上 心 / 星野 美湖

ジョイント居宅支援事業課では、移動支援、短期入所、居宅介護、日中一時支援と幅広いサービスを提供しています。その中でも今回の実践発表では、移動支援について発表しました。

移動支援とは障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業サービスの一つです。内容としては、一人で外出が困難な方にガイドヘルパーが同行し、外出を可能にするものです。私たちは皆さんと一緒に外出して、希望を実現するお手伝いをしていると自負しています。

今回は「安心と笑顔を増やす」のテーマに基づき、私たちが移動支援で皆さんの笑顔を見る為に工夫している事や、意図を汲み取る為に意識している事等を、事例を交えながら発表しました。

外出の行き先としては、食事、喫茶、映画、カラオケ等が多いです。そこに同行して皆さんがひとりでは困難であると感じている事を手伝い、見守っています。具体的には安全の確保、お金の支払い、公共交通機関の利用補助、切符の購入などがあります。

その中で意識していることは、皆さんが発する言葉が、本人の本当の思いと一致しているかということです。同じ行き先を求めている方もいれば、他の行き先を知らないだけの可能性もあります。その際に新しい可能性と一緒に探るようにしています。また、安心して外出できるように一人一人に合った支援を提供できるよう努めています。例えば、写真で行き先を伝えたり、文字で先の予定を伝えたりしています。外出は、誰にとっても楽しい事であって欲しいと私たちは考えています。

移動支援は一羊会が行っている事業の中でも、余暇や楽しみに直結している支援です。その為、皆さんの笑顔や楽しんでる表情をリアルタイムに目にすることが出来ます。

私たちは皆さんと常日頃から関わっているわけではありません。だからこそ、ラフな関係性を築きやすいとも思っています。皆さんのことをより深く知る為には、ご家族を含めた関係機関との連携が重要になります。私たちに皆さんの普段の表情や様子を是非教えて下さい。

皆さんと外出をすることで、ガイドヘルパーという存在を地域の方々に知ってもらうことも大きな意義の一つだと思います。移動支援で頻繁に会う地域の方が挨拶して下さったり、話しかけて下さったりと確実に社会との繋がりが出来ていると感じます。

楽しい! また行きたい! と皆さんの“笑顔”を見るのが私たちのやりがいの一つです!

今日も明日も皆さんと共に外出かけを楽しみたいです!



『笑顔でともに』

上甲子園すずかけ作業所

橋本 真理子

作業出発時間に大幅に遅れる方に対して、出発時間を早めることを目標にトークンエコノミー法を用いた支援を実施しました。これまでも複数の視点から支援を行いましたが、いずれも効果は不十分で、それらの結果から主な要因は作業へのモチベーションが不足していることではないかと推測されました。したがって、ご本人の意欲へ働きかける方法としてトークンエコノミー法を採択し、「出発時間までに作業準備ができたならハンコを1つ押す」「ハンコが貯まったら職員と外食へ行く」というゴールを目指してともに歩んだ経過を発表させていただきました。

上甲子園すずかけ作業所では、マンション清掃や公園除草、菓子製造などの作業に取り組んでいます。日々限られた時間の中で決められた作業量をやり遂げなければなりません。特に私たち屋外班は作業所外へ出向いて作業を行うため、一人の出発時間が遅れることで全員の作業時間が削られてしまいます。そのため、個人のペースを完全に尊重することが困難な場面もあります。今回のケースにおいても、ご本人のペースを尊重したい気持ちと作業の都合上それが困難であるという現実。その2つの葛藤に苛まれつつも適切な関わり方が見つけられずにいました。職員は出発時間を守ってほしいが、ご本人にはそれを守るメリットが無い状態で、一方通行の働きかけになっていたのかもしれません。今回の支援を導入したことで、ハンコを押すカードの存在がひとつの起点となり、職員とご本人がともに同一のゴールを目指せるようになりました。トークンの存在によりご本人が意欲的に行動を進められるようになり、その結果職員は前向きな働きかけがしやすくなりました。さらには想像以上のポジティブな関わりがご本人から投げかけられるようになり、素直な気持ちを共有する機会が格段に増えました。以前はご本人の気持ちに十分に目が向けられていなかったのが、今では同じ方向を向いて寄り添えていると感じます。

今回の支援を経て、「どうしようもない」と感じている状況も、新たな視点ひとつでいくらかでも変わり得ることを学びました。同じ行動を取るのなら笑顔で楽しいほうが良いですね。皆さんの日々の生活が少しでも楽しく充実したものになるよう考え続けていくことが私たちの仕事の基盤であると改めて実感しました。





新任職員紹介

一羊園 管理者 山岡 賢治



一羊園では、今年の7月にミャンマー出身の外国人スタッフ2名を採用しています。

昨今の労働人口減少を受け、しょうがい者支援の現場、特に夜勤を伴う施設については人材不足が深刻な課題となっています。介護施設での外国人採用は聞いていましたが、私の中では「しょうがい者支援はコミュニケーション支援の比重が大きいため難しい」という認識で留まっていた。

一羊園では給食を業者に外部委託しています。その業者は外国人採用に力を入れており、一羊園の厨房でも1名の方が働いています。その方の対応が非常に丁寧で、最初は難しかった日本語も日に日に上達している様子を見近に見る事で、外国人採用が現実味を帯び、導入する運びとなりました。

採用に向けた準備として、薬の記名を平仮名にするといった小さなことから、「やさしい日本語」(阪神・淡路大震災をきっかけに始まった、緊急速報等を外国人に伝えるための手段)の研修受講等を行いました。

入職後は業務の学びが比較的易しい場面から入ってもらい、毎日面談を重ねることで学びの進捗確認等を行いました。

実際に一緒に働く中で感じたことは、「前向きで熱心、仕事の覚えも早い」ということに尽きます。もちろん言葉の壁はありますが、それを乗り越えるだけのものをお二人とも備えている事、また教える側のスタッフも積極的に関わる中で感化を受け、先輩職員としての自覚が出てきている状況から、今では「言葉の壁は結構乗り越えられる」と感じています。

とはいえまだ採用して5か月足らず、専門知識の獲得といった課題はあります。今後も事業所全体で協力することで、定着につなげていきたいと思えます。



インタビュー

質問内容 ①名前 ②出身地について ③仕事で頑張っていること ④趣味や特技 ⑤好きな日本食

ピューソンさんと呼んでください



- ①ピューソン アウン PYAE SONE AUNG
- ②ミャンマー マンダレー
- ③利用者さんに心配なことがなくなって、毎日が嬉しくなるように頑張っている
- ④歌を聴くこと、歌うこと
- ⑤串カツ

スェンさんと呼んでください



- ①ミン スェン ピュー MIN SWAN PYAE
- ②ミャンマー ヤンゴン
- ③利用者さんとのコミュニケーション
新しいことを勉強している
- ④音楽、アニメ、映画、ゲームが好き
- ⑤うどんとラーメン

すずかけイチバ上甲子園

上甲子園すずかけ作業所 管理者
谷口 雄大

上甲子園すずかけ作業所で、11月9日に『すずかけイチバ上甲子園』というイベントを開催しました。コンセプトは“地域の皆さんと一緒にイベントを作り上げる、です。このイベントは、出店者をSNS等で募りイチから作っていきますので今回も手探りの中でのスタート。当日までどうなるのかドキドキでしたが、たくさんの方にお越しいただきました。ありがとうございました。

イベント開催中に様々な光景に出会いました。「久しぶり！」遊びに来ていた利用者さんと出店者である元職員が再会を喜ぶ姿はずっと変わらない繋がりを感じました。今回は25年度に入職予定の学生さんもスタッフとして参加。イベントを盛り上げようとする姿は頼もしく4月から一緒に働けることが楽しみになりました。ご近所から1人でクッキー体験に来てくれた女の子。聞くとお母さんにイベントのことを聞いてクッキー体験を申し込んでくれたそうです。このイベントが女の子にとって良い思い出になってくれていたら嬉しいと思います。まだまだ書ききれませんが、たくさんの素敵な光景があふれるイベントを、関わってくださった皆さんと一緒に作り上げることができたと思います。

イベントは来年も開催予定です。来年はどんな光景が広がるのか今から楽しみです。



イベント準備から
片づけまで
手伝ってくれた学生さん



大盛況だった
すずかけロボ作りの
ワークショップ

鳴尾浜神社の
学生ボランティアさん達が
楽しい出店を開いてくれました



すずかけクッキー作りの
ワークショップには
たくさんのお子さんが
参加してくれました



馴染みの職員との再会を喜ぶ
岸恭弘さん



あとリエ すずかけ 新聞

第32便 2024. 12
撮影／編集：神田 浩平



あとリエすずかけ秋の市を 開催しました

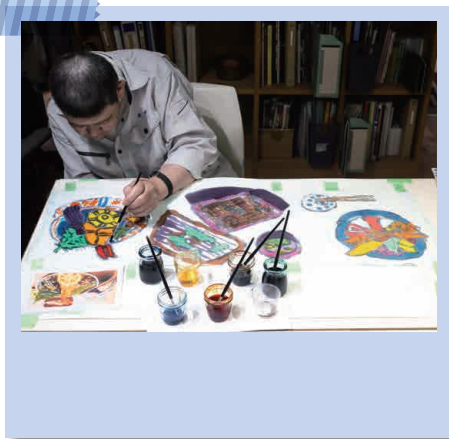
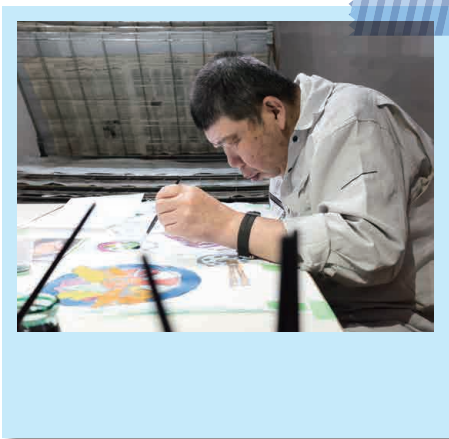
11月16日に雑貨の販売会を行いました。今回のイベントでは、あとリエすずかけと繋がりのある『Basic coffee』さんと『羊水』さんが参加してくださり、コーヒーと植物の販売で一緒にイベントを盛り上げてくれました。午後からは、あとリエすずかけのワークショップを開催。集まってくれたお子さん達とクラフトカーを作りました。1日だけのイベントでしたが、同じ空間に色んな人が集まって、楽しい時間を共有できました。



小山充基さんの絵が 広川内科クリニックに展示されています

広川内科クリニックに小山さんの絵をかけさせていただきました。小山さんも同行して自身の絵を運び、「その壁に緑のやつ」といった感じでスタッフに指示をくれました。広川先生や看護師さんから絵を褒めてもらい、照れつつも嬉しそうな小山さんでした。広川内科クリニックに行かれた際には是非、小山さんの絵をご覧ください。





尼崎昌弘さんの『丼もの』てぬぐい

尼崎さんが『丼もの』てぬぐいを描き上げました。海鮮丼にうな重、そして天井が豪快に描かれています。丼てぬぐいの構想は、5月にでかけた写生会で尼崎さんが昼食にネギトロ丼を食べていたことから、「色々な丼を描いたてぬぐいってどうやるか」と尼崎さんとスタッフとの会話の中で膨らみました。このてぬぐいは、「あとりえすずかけ秋の市」でお客さんにご購入いただきました。

石原琴恵さんの『タテタテヨコヨコ』

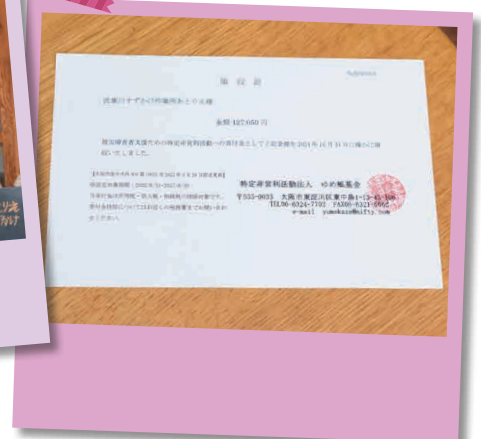
丸と波のモチーフを描くことが得意な石原さんが、昨年から新たに取り組んでいるモチーフ「タテタテヨコヨコ」です。規則性を持って並んでいるタテ棒とヨコ棒が、時々イレギュラーにくずれるユルさや、絵が右肩さがりになる石原さん特有のスタイルも相まって、どれも可愛く魅力的な仕上がりです。石原さんが丹念に描き込んでてぬぐいを是非手に取ってみてください。



能登半島地震チャリティーTシャツ寄附報告とお礼

あとりえすずかけでこの夏に販売した『チャリT』の売上金のうち、50%にあたる127,050円を、『認定NPO法人ゆめ風基金』に送金しました。ゆめ風基金は被災障害者を支援されている団体で、この寄附金は能登半島地震で被災した障害者福祉事業所の再建にお役立ていただきます。

チャリTをご購入くださった皆さま、ありがとうございました。能登半島地震で被災された方々が、1日も早く日常を取り戻す事ができますように、お祈り申し上げます。



一羊園の秋祭り

9月30日、一羊園の秋祭りが行われました。利用者さんも職員も、この日に合わせて用意した浴衣や作務衣を着て参加し、グッとお祭りムードが高まりました。利用者さんのご家族もたくさん参加してくださり、和やかな雰囲気の中で、園庭でお祭りメニューのスペシャルランチを食べました。ランチの後には『ハローマダムズさんの音楽会』が開かれ、会場は大盛り上がり。9月に誕生日を迎えた利用者さんを皆でお祝いしたり、利用者さんが前に出てひとりで歌うコーナーもありました。ラストには7月から入職したミャンマー出身のピエソンさんとスエンさんにも前に出てきてもらい、「上を向いて歩こう」を皆で歌いました。



一羊会後援会からお礼とご報告

いつも後援会ならびに一羊会の活動にご支援を賜りありがとうございます。後援会からいくつかご報告いたします。

寄附の報告

今年度も一羊会へ150万円を寄附いたしました。みなさまにはさまざまな形でご支援いただきました。心より御礼申し上げます。

クレジット決済「シンカブル」

今年度から導入したクレジットカードから振込ができるサイト「シンカブル」。
おかげさまでご利用いただいています。



一羊会への寄附金は、事業所の設備整備や備品の購入などに役立てられています。現在はグループホームの建て替えに向けて資金を集めております。今後ともご支援のほどよろしく願います。



カレンダー販売、無事に終了しました

「はたらく仲間のうた」カレンダー、今年もたくさんの方にご購入いただきました。売上の収益が一羊会への寄附となります。ありがとうございました。

一羊会サポーターページができました

一羊会を応援してくださる方を「一羊会サポーター」として、一羊会ホームページ内にサポーターページを開設しました。支援の方法や後援会の活動報告を掲載しています。

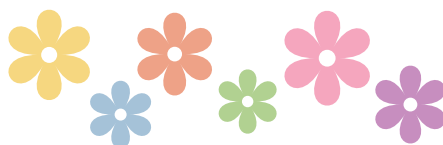
サポーターページはこちらから↓





助成金の御礼

公益財団法人みずほ福祉助成財団様

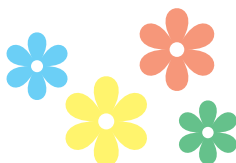


・すずかけ作業所

この度、公益財団法人みずほ福祉助成財団様より、移乗サポートロボットHug購入に当たり助成金をいただきました。車椅子の利用者の方、歩行状態が不安定になってきた利用者の方の移乗時の負担を軽減し、また、脚力維持や尖足予防が可能なロボットです。職員にとっても支援時の不安が軽減されるものとして、効果が期待されます。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



一般財団法人 高友福祉積善会様



・すずかけ作業所

この度、一般財団法人高友福祉積善会様より、気化式加湿器10台購入に当たり福祉事業助成金をいただきました。「除菌」「加湿」「消臭」の機能のある次亜塩素酸噴霧器を各所に設置し、感染症対策と消臭対策の一環として、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



・一羊園

この度、一般財団法人高友福祉積善会様より福祉事業助成金を頂き、車いすの方も利用できる家庭菜園プランター「ベジトラグ」を4台購入させて頂きました。余暇時間に、利用者さんと一緒にガーデニングを行いたいと思います。本当にありがとうございました。



法人・事業所御寄付の報告 (敬称略・順不同) (2024年7月1日~2024年10月31日)

*法人

一羊会後援会 三浦 昇(2件) 3件

*一羊園

一羊園家族会 大中 博 森野和雄 関本弘子 笹川利彦 北村典子 6件

*すずかけ労働センター

御手洗美和 すずかけ労働センター保護者会(2件) 3件

*武庫川すずかけ作業所

平野弘子(5件) 匿名 6件

*ジョイント

匿名(2件) 藪亀まゆみ 3件

*児童通所支援

古川 勝 1件

いつもご協力・ご支援ありがとうございます!!

2024年度一羊会後援会会費 (敬称略・順不同) (2024年8月1日~2024年10月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

(社福)光耀会 (株)瀧川薬局 中澤総業(株) (税)丸岡&パートナーズ 5件
上甲子園すずかけ作業所保護者会(2口)

*個人の部

天野朗代 飯森隆年 大前はるよ 岡 克明 緒方満智 奥嶋育子 柏原柚葉 神尾ツタエ
北村典子(3口) 久保田晴子 堺 孰 塩谷健介 四方 勝 関本弘子 高谷知子
高野重子 寺尾郁子 中田祥貴 長谷隆行 早川典江 藤田隆治 堀江史子 本田洋子
松枝千尋 宮脇葉子 すずかけ労働センター保護者会(16口) 26件

2024年度一羊会後援会御寄付 (敬称略・順不同) (2024年8月1日~2024年10月31日のご入金分を掲載)

*法人・団体の部

トータルマナー(株) (税)丸岡&パートナーズ 2件

*個人の部

飯田喜美子 井上尚子 浦山昭代 大目修平 加藤泰子 唐沢文子 久保田晴子 佐藤幸子
柴山秀樹 高谷知子 高月千佳 寺尾郁子 中村栄子 西 眞弓 長谷川 幸 長谷隆行
早川典江 古川 勝 本田洋子 万竝建二 横山 潤・正代 渡邊絹子 22件

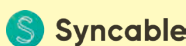
■口座名義 一羊会後援会

■銀行 三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061

■郵便振替口座 01190-8-66322

■シンカブル

(クレジットカード・銀行振込決済サイト)



※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。別途受領証が必要な場合はお知らせください。
※現金振込時の手数料について、振込手数料は後援会負担としておりますが、現金でお支払いの場合は別途110円の手数料がかかります。誠に恐縮ではございますが、何卒よろしく願いたします。(ゆうちょ銀行の通帳やカードでのお支払い時には手数料はかかりません)